1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

1				
事業所番号	1271300525			
法人名	有限会社正心			
事業所名	グループホームせいしん			
所在地 千葉県野田市中根207				
自己評価作成日	平成22年4月1日	評価結果市町村受理日	平成22年6月25日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do

【評価機関概要(評価機関記入)】

- 2		
	評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
	所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
	訪問調査日	平成22年4月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりの思いや望みを大事にしていく。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム せいしん」の施設内は、バリアフリーとなっており、大きな窓が設置され、日当たりや風通しの良い、明る〈開放的な施設となっている。玄関には、季節の草花が植栽され、和やかな雰囲気作りがなされている。理念に「その人らしい生活の支援」を掲げており、入居者との馴染みの関係を大切にしており、個人の尊重・さりげない支援の実践に取り組んでいる。職員と入居者は日々、コミュニケーションを図っており、希望や思いを把握し、職員全員で情報を共有しながら一人ひとりに即した支援方法を検討している。

	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自	己点検	したうえで、成果について自己評価します	
	項目	取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印		項目	取 り 組 み の 成 果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 - を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3〈らいの 3. 利用者の1/3〈らいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよ〈聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3〈らいと 3. 家族の1/3〈らいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 - がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3〈らいが 3. 利用者の1/3〈らいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
9	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3〈らいが 3. 利用者の1/3〈らいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3〈らいが 3. 職員の1/3〈らいが 4. ほとんどいない
О	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい - る (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3〈らいが 3. 利用者の1/3〈らいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3(らいが 3. 利用者の1/3(らいが 4. ほとんどいない
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な- 〈過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3〈らいが 3. 利用者の1/3〈らいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3〈らいが 3. 家族等の1/3〈らいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟ー	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利田者の2/3/5L)が			

2. 利用者の2/3(らいが

3. 利用者の1/3(らいが

4. ほとんどいない

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+-) + (Enter+-)です。]

				LEADING (MICH) · (LINE) (Cy)		
目	外部	項目	自己評価	外部記		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
	理念	に基づく運営				
1	(1)	理念の共有と実践 グループホームせいしん	(人そのために) その人がその人らしく 生きられるために必要とする手伝いをさ せて頂く。	掲げている。理念を明文化し、玄関・事務所・リビング等	理念を始めとする掲示物の状態を再度見直して頂き、 職員の目に触れやす〈する事で、より高い理念の浸 透·効果的な情報の伝達に向けて取り組んで頂〈事を 期待します。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	床屋・買い物を近所の店を利用する。地域の祭り等に参加。散歩時の挨拶等。	店や理髪店等の馴染みの場所を通じて、地域との交流 に取り組んでいる。入居者の無断外出した際には、地域	施設の近隣にある「醤油工場」に対し、施設理解の促進・協力の呼びかけを行い、地域住民以外の人達とも協力体制を構築する事により、入居者の安全確保や	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知 症の人の理解や支援の方法を、地域の人々 に向けて活かしている	電話や訪問されて〈る相談については、 当事業所でできる限りのことは対応して いる。			
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や 話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上 に活かしている	面会等もあるのだが、運営推進会議の		運営推進会議の開催に向け、今後も家族・地域住民 等に参加の呼びかけを行い、第一回運営推進会議を 実現して頂〈事を期待します。	

自	外		自己評価	外部記	平価
自己		項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサービスの取り組みを積極 的に伝えながら、協力関係を築くように取り組 んでいる	連絡をしてご指導をいただいている。	野田市とは定期的に業務に関する相談や報告等を行っており連携を図っていると共に、市職員による巡回訪問も頻繁に行われており、意見・情報交換を行い、市と協働でサービスの質の向上に取り組む関係が築かれている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束 をしないケアに取り組んでいる	ヨハームは用川ヨ时より刊米は奈正し	身体拘束に関するマニュアルが整備されていると共に、研修も行われている。施設として「身体拘束排除宣言」と言う指針を明文化し掲示している。研修では具体的にどのようなことが「身体拘束」にあたるか等を実例を挙げて職員に伝えており、全職員が身体拘束排除に取り組んでいる。日中は玄関の施錠せず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合には声掛けや見守りにて理念に基づいた「その人らしい生活」の支援に努めている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法に ついて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業 所内での虐待が見過ごされることがないよう注 意を払い、防止に努めている	常に(あってはならないこと)と話し合い をしている。転倒して(アザ)等ができて しまっても必ず家族に報告し説明し家族 の声を職員にも知らせている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、それらを活用 できるよう支援している	職員は勉強会やマニュアルで学んでいる。市や家族とも話し合うことはあるが、 制度利用者は0名。生活保護となった ケースは1名。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている	説明し、署名捺印をいただいている。		

白	小	I	自己評価	外部記	平価
自己	外部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会議等を開催することはできないが、家族・ご本人・他の人達の意見は全職員 に知らせて対応している。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見 や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも意見は聞く。実行できることは 全員でやってみてダメなら又考える。	朝礼等で全職員から意見や提案を確認する場を設けている。また、管理者は手紙・メモを活用し、職員の意見や思いを把握できるよう工夫している。挙がった意見等については、幹部従業者だけで判断するのではなく、全職員に伝え、様々な角度から検討し、運営に反映させている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、 勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やり がいなど、各自が向上心を持って働けるよう職 場環境・条件の整備に努めている	できる限りの給与を考え行っている。(民 事再生での対応となっており、きびしい ところもある。)		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの 実際と力量を把握し、法人内外の研修を受け る機会の確保や、働きながらトレーニングして いくことを進めている	一緒に業務を行いながら教えている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する 機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互 訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上 させていく取り組みをしている	まだできていないのが現状である。		

白	外		自己評価	外部記	平価
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		【信頼に向けた関係づくりと支援 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	行っている。本人から話し訴えて〈れる ように気配りをしている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時や入居時にできるだけ時間をか け話し合うようにしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、 他のサービス利用も含めた対応に努めている	まだ在宅で可能か特養に入居した方が 良いのか等話し合うケースも多い。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できることは職員と一緒に手伝っていた だくようにしている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本 人を支えていく関係を築いている	できる限りご家族様にも協力していただ いている。外出・外泊・面会等。		
20		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	が、継続させることは難しいのが現状である。	契約時に入居者・家族から生活暦等を確認し、馴染みの関係・場所等を把握しており、要望に添った柔軟な支援を心掛けている。馴染みの理美容室の利用等、馴染みの場所への外出を行っており、関係継続を支援している。入居者の事情により把握困難な場合や馴染み関係の継続ができない場合は、施設を「馴染みの場所」とし、新しい関係作りを支援しており、理念に掲げている「その人らしい生活」を支援できるよう努めている。	

白	外		自己評価	外部記	平価
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤 立せずに利用者同士が関わり合い、支え合え るような支援に努めている	トラブルが起きぬよう見守りながら、皆さ んで手伝いやレク等を行っていただいて いる。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの 関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・ 家族の経過をフォローし、相談や支援に努め ている	連絡があればできることはいつでも対応 している。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23		思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の 把握に努めている。困難な場合は、本人本位 に検討している	本人・家族の希望はプランに書き込み 全職員が分かるようにしている。実現不 可能であるものについても、あえて(でき ないよ)とは本人には話していない。	契約時に本人・家族からの生活暦や意向等を確認している。また、日々の生活状況や会話等にて意向の把握に努めている。会議等にて、職員全員が記録を基に検討しており、出来る限り入居者の意向に添った支援が行われるように取り組んでいる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生 活環境、これまでのサービス利用の経過等の 把握に努めている	プラン上に生活歴は記入している。(プライバシーを守るため記入しないほうが良いと思うことは事務所で対応)		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有す る力等の現状の把握に努めている	毎朝の朝礼で、変化等も含め報告し、全 員が今の一人一人の状況がわかるよう に努めている。		
26		チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり 方について、本人、家族、必要な関係者と話し 合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、 現状に即した介護計画を作成している		入居者・家族の希望や職員の意見を基に全職員で介護計画を作成している。定期的に介護計画の評価や目標の達成状況の確認を行っている。会議にて入居者の生活・身体状況を全職員で話し合い、本人の意向・現状に即した介護計画作成に取り組んでいる。	

白	カト		自己評価	外部記	平価
自 己 27	外部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工 夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有 しながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	昼夜と個人の記録を記入し、職員がみられるようになっているが、個人個人の対応が多い。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	当事業所が対応困難となった時は他の 事業所にお願いすることもある。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で 豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援し ている	行っている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、 納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係 を築きながら、適切な医療を受けられるように 支援している	行っている。	希望するかかりつけ医への受診が可能になっている。協力病院を設置しており、医療相談や緊急時の対応等、協力体制が構築されている。日頃から医師や看護師と情報交換を行っており、急変時等に適切な医療を受けられるように支援している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報 や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等 に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診 や看護を受けられるように支援している	看護職は0名。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、 病院関係者との情報交換や相談に努めてい る。あるいは、そうした場合に備えて病院関係 者との関係づくりを行っている。	行っている。(面会に行き、医師や看護 師より話しを聞〈等)		

白	外		自己評価	外部語	平価
E	外部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族·担当医·協力病院·介護員	緊急時・終末期においては家族から意向等を確認しており、施設としての指針を説明し、同意書を交わしている。 主治医・看護師等と連携を図り、施設として出来る限り支援が行えるよう協力体制を整えている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての 職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的 に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを含め行っている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	話し合い・訓練・マニュアルはあるも、実際は困難と考えている。	定期的に消防署立会いのもと、消防避難訓練を実施している。訓練では夜間を想定した訓練を実施しており、職員・入居者は災害時の対応を身に付けている。また、スプリンクラーは行政の補助を受け、今年度中に設置が予定されている。	
	その(14)	人らしい暮らしを続けるための日々の支援 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保			
30	(14)	一人ひとりの与重とファイバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバ シーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に全職員と話し合っている。	プライバシー保護に関するマニュアルの整備・研修の実施等を行っている。また、一人ひとりに合った声掛け・言葉遣い等に配慮しており、本人らしい生活の支援に努めており、理念に添ったサービスの実践に取り組んでいる。居室には鍵が設置され、入居者のプライバシーが確保されている。	職員に入居者の状況・申送り事項・注意点等を周知するために、メモ書きにして掲示しているが、外部の人に見られてしまう場所に貼ってある。職員以外見られないような場所に掲示する等、個人情報保護の工夫を期待します。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている	行っている。床屋にいきたい、買い物に 行きたい等発言してもらえるよう対応し ている。		

百	ΔL	T	自己評価	外部記	平価 【
自 己 38	外部	項 目		実践状況	тіш 次のステップに向けて期待したい内容
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切にし、その日をどの ように過ごしたいか、希望にそって支援してい る	できる限り行っている。(しよう)など 無理強いはしないよう気をつけている。		7, 37, 77, 141, 37, 2, 201, 31, 31, 31, 31, 31, 31, 31, 31, 31, 3
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	できる限り行っている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの 好みや力を活かしながら、利用者と職員が一 緒に準備や食事、片付けをしている		入居者の希望や能力に応じて、食事の準備や片付け等を共同で行っている。職員は、入居者一人ひとりの食事ペースに配慮した見守りを行っていると共に、積極的に会話を行い、楽しい食卓作りに努めている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通 じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、 習慣に応じた支援をしている	行っている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じ た口腔ケアをしている	自分でできる人には声かけを行い、でき ない人には介助を行っている。		

自	外	** 0	自己評価	外部記	平価
自己	外部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひ とりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、 トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を 行っている	行っている。	排泄チェック表を利用し、入居者の排泄パターンの把握に努めており、一人ひとりに合わせた排泄支援を行っている。施設方針として、特に排泄の自立支援に力を入れており、声掛けや誘導等に工夫を凝らし、おむつ・パットの使用を減らすよう取り組んでいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の 工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予 防に取り組んでいる	ドクターとも相談しながら対応している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴 を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間 帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をし ている	決められた日の入浴となっている。	週2回の入浴日を定めているが、回数や時間等、入居者の希望に添えるよう職員間で検討を重ねている。浴室においては、手摺りや補助具を導入し、入居者の安全確保に努めている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応 じて、休息したり、安心して気持ちよ〈眠れるよ う支援している	行っている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服薬の 支援と症状の変化の確認に努めている	行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、 一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしてい る	行っている。		

É	外	項目	自己評価	外部評価	
自己	外 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に 出かけられるよう支援に努めている。又、普段 は行けないような場所でも、本人の希望を把 握し、家族や地域の人々と協力しながら出か けられるように支援している	いが、できる限り対応している。	天候や能力に応じて散歩を実施しており、希望に応じて 近隣の商店や床屋に出掛ける等、戸外に出掛ける機会 を設けている。定期的に外出会を企画・実施しており、戸 外での楽しみを支援している。	一人ひとりの希望・能力等に応じた外出や外部との交
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるように支援している	行っている。		
5		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、 手紙のやり取りができるように支援をしている	行っている。		
52	2 (19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、 浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混 乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度 など)がないように配慮し、生活感や季節感を 採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫を している		施設内は、バリアフリーとなっており、入居者の安全面に配慮した造りとなっている。また、リビングには大きな窓が設置されており、日当たりや風通しの良い開放的な施設となっている。照明器具は時間帯によって明るさを調節しており、入居者の生活ペースを崩さないよう配慮している。	

	自 外	項目	自己評価	外部評価	
	自 外 己 部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	53	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った 利用者同士で思い思いに過ごせるような居場 所の工夫をしている	行っている。		
	54 (20	() 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と 相談しながら、使い慣れたものや好みのもの を活かして、本人が居心地よく過ごせるような 工夫をしている	日から使用していた物でているよ使用して頂いているなど対応している	入居者の希望に応じて馴染みの家具等の持ち込みは自由になっており、居心地が良くその人らしい個性あふれる居室作りがなされている。また、ベッドや布団の選択も可能となっており、入居者の生活歴に配慮している。各居室にエアコンが設置されており、職員により空調管理が行われていると共に、鍵が設置され入居者のプライバシーに配慮している。	
	55	一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかる こと」を活かして、安全かつできるだけ自立した 生活が送れるように工夫している	一人一人の状況に合わせて、工夫して いる。		

自外	自己評価	外部評価	
	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容